

第1回笠間市立小中学校学区審議会議事録

日 時：平成28年11月30日（水） 午後7時～9時

場 所：笠間市役所 教育棟2階2－3会議室

出席者：審議委員15名 事務局8名

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 教育長あいさつ
4. 学区審議会委員の自己紹介
5. 事務局職員の紹介
6. 学区審議会会長・副会長の選出

事務局 学区審議会条例第5条によりまして、会長1名、副会長1名を選出いたします。互選ということになっておりますが、どの様に選出したらよいかお諮りいたします。

委 員 事務局一任

事務局 事務局一任という声をいただきましたが、お任せいただけますでしょうか。

複数委員 異議なし

事務局 それでは事務局から会長、副会長を推薦します。会長に、大月光司委員を、副会長に井川省史委員を推薦いたします。いかがでしょうか。

複数委員 異議なし

事務局 それでは、会長に大月光司委員を、副会長に井川省史委員を選出いたします。よろしくお願いたします。

7. 諮問書の交付
8. 学区審議会会長あいさつ
9. 議 事

- (1) 学区審議会の公開について
- (2) 説明事項 南小・南中学校に係るこれまでの経緯について
- (3) 報告事項 小規模特認校の実施について
- (4) 審議事項 南小・南中学校の学区について

- 会 長 それでは、早速会議に入りたいと思います。まず、最初に本日の出席委員は14名であり半数以上です。したがって、本日の審議会は笠間市立小中学校学区審議会条例第6条第2項の規定により成立したことを報告いたします。次に、本審議会の会議録の作成にあたりまして、審議会規則により学務課職員にお願いしたいと思います。それでは、皆様のご協力により会議を進めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。
- それでは、議事に入ります。(1) 学区審議会の会議の公開について、事務局で説明をお願いします。
- 事務局 資料1により説明
- 会 長 今後の審議会については引き続き公開ということによろしいでしょうか。
- 複数委員 異議なし
- 会 長 公開ということで、これから進めて参りたいと思います。
- (2) 説明事項、について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 資料2-1、資料2-2により説明
- 会 長 事務局の説明について、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。
- 委 員 資料2-1の小規模特認校について、小規模特認校になることと学区の審議は別物として扱った方がよいのか、リンクしていることを意識した方が良いのか、教えてください。
- 事務局 基本的に別物として理解していただきたいと思います。小規模特認校というのは学区の仕組み変更をするわけではなく、従来の学区を残したまま市内どこからでも就学を認めるという制度です。学区外の児童生徒が行きたいとなると、保護者から教育委員会に指定校変更届をだしてもらい許可を出す形になります。
- 委 員 県内で既に実践している国田小中学校に視察は行ったのでしょうか。
- 事務局 国田義務教育学校には市教委・学校とも視察しております。国田義務教育学校には私も行ったのですが、いままでの小中学校とは異なり、一つの学校になることで子どもたちの一体感があると感じました。上は下をみる、下は上を見習うという教育が行われていました。1から9年生まで一貫した教育ができるので、途切れることのない連携した教育ができていたと感じました。先生からのお話も聞き、子どもたちものびのびしていて良かったと思います。
- 委 員 南小中の職員も視察を行いました。国田義務教育学校は小規模特認制度を使って平成26年度から前期課程23名、後期課程が14名、合計37名が入学しています。全校生徒170名いるうち2割にあたります。小規模特認の効果として、学区外の児童生徒を思いやれる心が育っていると感じました。保護者も協力的でボランティア活動も積極的です。
- 委 員 国田の場合、学区の問題はどうでしたか。
- 事務局 国田は小中学校同じ学区でした。しかも国田の場合、幼稚園・小学校・中学校一体的に教育を行っている状況です。

- 委 員 資料２－２の地図について、古い道路地図を使わないでほしいと思います。新しい国道３５５号バイパスがあと数年で開通する予定で交通量も増えるはずで。交通安全上の問題を考えたときにどうするのだろうと思ってしまいます。
- 事務局 地図については、次回以降訂正していきたいと思います。
- 会 長 （３）報告事項について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 資料３－１，資料３－２により説明
- 会 長 事務局の説明について、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。
- 委 員 小規模特認校には賛成の立場です。国田の例にもあったように上は下を，下は上をということで，教育効果が大きいと思います。南小中にも直接伺ったことがあります，地域の方も熱心，協力的だったと思います。流出に対しては学校そのものに魅力がなくてはならないと思います。それにはいろいろなアイディアが必要です。人数が少ないと部活動も個人競技に偏りがちになってしまいますが，ゴルフ部やレスリング部など魅力ある部活を設立してはいかがでしょうか。
- 委 員 部活動に関しては保護者の関心も高いです。人数が少なくなった背景もあり，今年度は野球部・バレー部が廃部になりました。地域からゴルフ部の提案もあり，計画を立てている最中です。友部高校や小学校のスナックゴルフ，地元のゴルフ場との連携も行っていきたいと考えています。これを受けてすでに他学区より南中に入学したいとの連絡を受けている現状です。
- 委 員 外部コーチの活用をもっとして欲しいと思います。東京の学校では多くが外部コーチで，教職員の負担を軽くしている方向に向かっています。
- 委 員 南小中学校を小規模特認校にした場合，岩間地区の小規模化が問題になるのでしょうか。来年，岩間第三小学校の入学者が１クラス，岩間第二小学校も１クラスと聞きます。岩間の人数が減っているという現状もあり不安です。
- 事務局 市内の学校はそれぞれ特色があります。それぞれの特色を活かしながら切磋琢磨して教育展開していくことが重要と考えております。義務教育学校といっても，基本は学習指導要領に準じたものであります。ですから，教育委員会としては市内全体のレベルを底上げするような形を考えています。小規模特認校については南小中をモデル校として始めますが，同じ小規模校についても，良いことは取り入れていきたいと思っています。
- 委 員 学校のレベルがそれぞれ上がることはよいことですが，保護者はそのような理解にならないと思うので，そこは注意しなければならないと思います。
- 事務局 小規模も魅力の一つとして考え，募集人数は１学年３５名を上限で考えています。
- 委 員 人数が増えた場合にはどうしますか。
- 事務局 施設面の問題があるため，教育委員会としては３５名と考えております。
- 委 員 地元のＰＴＡ会長はいろいろな意見があり責められる立場にあるため，負担がかからな

いよう進め、全体の責任で決めていきたいです。会長の方々はこれまでいろいろな苦勞をしてきたと思います。というのも、地元というより保護者に説明や説得を行ってきたはずです。みなさんでサポートができればと考えています。

会 長 （３）については以上ということで、次に移りたいと思います。（４）審議事項について、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料４－１，資料４－２により説明

会 長 それでは、学区の方向性の提示がありましたが、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。

委 員 先ほど言った話も関わってくるかと思いますが、学区の問題は入学できるかできないかの優先性につながっていくと思います。そして、ひとつ確認したいのが、資料２－１の指定校変更の内訳を見ると、距離の関係で南中に行く人がいますが、これは南中の目の前の人であるはずで。こういった、どこの人なのかが抜けているんですね。笠間中なのに南中に行く人がいるということは、そのエリアは南中学区にした方が良いということだと思います。

事務局 今後、笠間中学区のどの辺の地区の人が通学の関係で南中へ行っているのか等、分析をしていきたいと考えています。

委 員 変則的な学区編成であるが故に、今の南小学校の小規模化を招いたのではと感じています。数年前学区見直しを行わなかったことはひとつのチャンスを逃したといえるでしょう。それらを踏まえて考えると、学区を変更しなかった場合、一貫教育をしている最中に笠間中学校区の指定通知が来ることになります。では、学区を変更した場合、他の学校にいけないのかという問題もありますが、現制度においても学校変更の制度もありますし、最大限の配慮をしながら学区の編成をしていければと思います。新しい道を見通した見直しも必要でしょう。水面下でいろんな意見が来ていますが、前向きな志向で最大限よい結果ができればよいと思います。

会 長 委員が心配している件についてはいかがでしょうか。

事務局 今後の検討課題として受け止めております。

委 員 資料２－２地図において、芸術の村と呼ばれる地区の現在の傾向はどのようになっていますか。笠小・笠中学区であるが南小中へ変更している児童生徒はいるのでしょうか。議論をするためのデータがほしいと思います。学校を変更できる自由な面もあるわけなので、実際の線引き以外のデータも必要だと考えます。

事務局 実情は分からないのが現状です。新しく道路ができたときにどうするのかという地域の声は聞いていません。これから将来を見通した審議を行い、その答申に基づき地域に入っていくと考えています。

委 員 提案なのですが、学区がわからないので視察してはいかがでしょうか。

委 員 バスで視察をするほどではないですが、学区と部活の問題は別ではないかと思っています。部活の有無は個人的問題で、学区は道路の問題等がある。別枠の問題として扱うべきではないでしょうか。

- 委員 南小を卒業した子どもたちが南中へ進むことが望ましいと思います。だから学区の編成は大事になってくるでしょう。
- 委員 先のことも考えると、折衷案ではなく強く求めていければと思います。
- 委員 南中がなくなるのではないかと、ここ数年常に不安と一緒にでした。しかし、学区をこのままにしたら不安要素になっていきます。したがって、事務局より選択肢として挙げた「変更しない」はないと考えています。不安の種はなくして新しいことを進めていきたいです。歴史的な背景や行政区ごとの学区分けもあり難しいとは思いますが、理想は南小・南中学区の統一化です。関知していない人が学区を見たらおかしいと感じるはずで、事実、南中学校の目の前から笠間中学区という現状があります。
- 委員 なぜこんな分かりにくいことになっているかというと、学区の境界線があるところに学校が移動した背景もあります。学区については、リセットしなければいけない時期ではないでしょうか。だからといって、国道355号を基準にして手越地区を切るということはありませんでしょう。水戸線と355号とどちらで切るか、このままにするのか等検討課題はあります。決まってから地元を持っていくというのでは遅いと思います。地元の意見を吸い上げながら検討しなければならないでしょう。先を見据えて安全面の配慮をしていく必要があると感じます。
- 委員 地元の意見ということで、抵抗が予想されるのが来栖地区です。過去に不幸があったから絶対不可侵というのは違うと思います。時代に合わせて変えていかなければいけないでしょう。当時の判断が正しかったかということは、現在の現状を招いたことを考えると、必ずしも正しかったとは言えないと思います。歴史的経緯を盾にしている人もいますが、この機会を見逃したら今後見直す機会はないと思います。地元の意見を吸い上げながらとすると、難しいところもあるのが現状です。
- 委員 この学区は昭和30年の市町村合併の線引きを引きずっていると感じました。しかし、地元の若い方がそれを拘っていないということなので、思い切って変えるべきだと思います。ひとつ確認したいのが、笠間・友部・岩間の市町村合併の際に、友部と合体させた学区編成についての案があったかと思うのですが、どうなったのでしょうか。これらの案は全くないという上で審議をしていけばよいのか確認したいと思います。
- 事務局 確かに、南小学区を笠間・宍戸・稲田と合わせるという案もありましたが、審議委員のなかに南小中を残したいという意見があったことからそれ以降は検討しなかった経緯があります。
- 委員 参考程度に教えていただきたいのですが、笠間市で南小中以外に変則的な学区は他にもあるのでしょうか。今後他でも小規模特認をする場合、同じ問題があるのではないかと思います。
- 事務局 例えば友部でいうと、南友部と鴻巣の地区は、大原小と友部小を選べる調整区域で、現在もはっきり線引きをしていない地区です。笠間地区以外にも問題はあったと認識していただければと思います。
- 委員 付け加えますと、友部小・友部二小・友部中・友部二中の関係については、友部小・友部二小半分ずつがそれぞれの中学に通う関係になっています。

委 員 今回は、学年の切り替えが通常と変わっていくことが問題になるのでしょうか。

事務局 あくまでも制度としては6－3制になります。5－4制は義務教育学校の独自のカリキュラム上の区切りとして考えております。

委 員 9年間一貫教育なのに南小に通って笠間中に「指定」されるのがおかしいと思います。抵抗する人の多くが、笠間中に行くのが目に見えているのに、南中に6年生の1年間だけ通うのが嫌だという意識からです。最近、上加賀田地区から友部中へ変更している人も出始めています。

会 長 ご議論ありがとうございました。審議の論点としては、南小と南中で異なっている学区をどうするか、ということになると思います。資料4－1に、4つの方向性が示されていますので、これをもとに今後の審議を進めていきたいと思います。

事務局 なお、事務局より提示した4つの意見はこれまで出た意見であり、市教委としての方向性ではないことはご理解いただきたいと思います。

会 長 検討会、保護者説明会等において保護者や地元の方々よりだされた4つの意見に絞って今後審議を進めていくということで、もう一度確認させていただきますがよろしいでしょうか。

複数委員 異議なし

会 長 それでは、資料に記載されている4つの意見で次回以降審議を進めたいと思います。また、次回、審議を進める上で必要と思われる資料や、このような情報がほしいということがあれば、事務局に提示願います。何かありますでしょうか。

10. その他 今後の審議会日程について

会 長 その他、次回審議会の日程について事務局より説明をお願いします。

事務局 資料5により説明

会 長 事務局の説明について、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。

会 長 多くのご意見、貴重なご意見をありがとうございました。どこの学校に通うかは重要な問題かと思います。今後も慎重に検討していければと思います。また、議事進行にご協力くださいまして、誠にありがとうございました。以上で議事を終了させていただきますが、最後に遅れていらっしゃった委員、自己紹介をお願いします。

委 員 委員自己紹介

11. 閉会

事務局 大月会長並びに委員の皆様方におかれましては、長い時間にわたり熱心に議論いただき、ありがとうございました。以上をもちまして、第1回笠間市立小中学校学区審議会を終了させていただきますと思います。本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。